

59

# おおいた大茶会コントラクトブリッジ ひろば - おおいた文化の祭典 -

開催日：平成30年11月17日(土)・18日(日)

開催場所：iichiko総合文化センター



出会いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

## ●実施状況

世界三大カードゲームのひとつとされるコントラクトブリッジは、人類の発明した最も知的なゲームといわれ、IOC（国際オリンピック委員会）からマインドスポーツとして認定されています。第18回アジア競技大会（2018/ジャカルタ・パレンバン）で正式競技とされたこともあって、全国的にコントラクトブリッジに対する関心が高まる中、その魅力をゲーム体験や競技会見学を通じて広く知ってもらうため、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「おおいた文化の祭典」事業として開催しました。

ブリッジ体験教室では、参加者1人あるいは1グループに対して、スタッフ2人が対応し、ブリッジゲームの概要を説明しながら簡単なカードゲームやミニブリッジを体験してもらいました。2日間で約100人の参加者にブリッジゲームの面白さや楽しさ、健康上の効能を体験してもらうことができました。

また、福岡県からディレクターを招いて、大分では初となる公式のコントラクトブリッジ競技会を開催しました。福岡、佐賀、長崎、熊本、東京、浜松からのゲストペアと地元大分からの参加者を合わせて、17日の第1回は18ペア36人、18日の

第2回は16ペア32人による静かな熱戦が繰り広げられました。初心者が多い大分からの参加者にとって、他県の上級者との対戦と交流は大変良い経験となるとともに、競技会場がオープンスペースであったため、多くの人に競技会の模様を見学してもらうことができました。

## ●プログラム

11月17日（土）

- ・ブリッジ体験教室 10：00～17：00
- ・第1回コントラクトブリッジ競技会  
13：00～17：00

11月18日（日）

- ・ブリッジ体験教室 10：00～17：00
- ・第2回コントラクトブリッジ競技会  
10：30～15：00

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟 おおいたコントラクトブリッジ同好会

60

## オペラの祭典（芸術文化ゾーン事業）

開催日：平成30年11月17日（土）

開催場所：iichiko総合文化センター



## ●実施状況

「イタリアの情熱と愛」をテーマに、「オペラの祭典」を約850人の聴衆のもと開催しました。今回の祭典の開催に向けてソリストは全国公募を行い、大分、東京、愛知、福岡、佐賀、熊本、宮崎より現役学生の若手からキャリア30年以上のベテランまで集まりました。

第一部のオペラ・ハイライト「ポッペアの戴冠」は、市川右團次演出原案を能楽師馬野正基氏の所作指導、小栗哲家氏の演出により再構築し、大分で初めての演目を原語で上演しました。講談師神田紅佳氏の活気のある楽しい講談で曲説明等が行われるとともに、弦楽器やチェンバロ、オルガン、そして日本の伝統的な楽器「琴」を加えたことで、和と洋のコラボレーション効果が上がり、来場者から「新鮮かつわかりやすく、とても楽しめた」との喜びの声をいただきました。

第二部のガラコンサートでは、合唱団を公募し、高校生や大学生、ご年配の方、合唱経験のない方など、約50名の出演のもと、ヴェルディ、ドニゼッティ、プッチーニなどのイタリアオペラの名曲を歌い上げました。また、総合司会を務めた俳優の辰巳琢郎氏に、オペラの背景や曲目をわかりやすく解説していただき、大変好評でした。

さらには、開演に先立ち、指揮者ヴィート・クレメンテ氏と辰巳琢郎氏によるプレトークも行われました。

今大会の出演者の中には、慣れないイタリア語で苦労した方もいましたが、練習を重ねながら着実にステージをつくりあげていく過程は、高校生、大学生などの若い世代にとって素晴らしい経験となりました。

来場者からは「毎年このような演奏会をしてほしい」との要望もいただくなど、今後につながる大会となりました。

## ●プログラム

プレトーク 13：30～

ヴィート・クレメンテ（指揮者）

辰巳 琢郎（俳優）

開演 14：00～

指揮 ヴィート・クレメンテ

総合演出 小栗 哲家

総合司会 辰巳 琢郎

オーケストラ 「オペラの祭典」オーケストラ

（認定NPO法人 響ホール室内合奏団 他）

コンサートマスター 川瀬 麻由美

合唱 「オペラの祭典」合唱団

第一部「ポッペアの戴冠」モンテヴェルディ作曲

三代目市川右團次演出原案による和と洋を融合した形式のオペラ・ハイライト

所作指導 馬野 正基（能楽師）、谷村 育子（能楽師）

第二部「ガラコンサート」

愛の妙薬、ラ・ボエーム、蝶々夫人など

様々な時代のイタリアオペラの名曲をたどる

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 おおいた2018オペラの祭典実行委員会

61

## BUNGO JAZZ INN 2018

- おおいた文化の祭典 -

開催日：平成30年11月17日(土)

開催場所：若草公園



## ●実施状況

県内外から公募で集まったプロアマ含む9つのジャズグループが、思い思いのジャズを演奏によって表現する野外ジャズフェスティバルを大分市中心部の若草公園で開催しました。観客は、往年のジャズファンから、ジャズ初心者の方まで、500人程が集まり、ジャズのリズムやメロディーに身体を揺らしながら楽しそうに耳を傾けてました。また、特別出演として、大分市で活動する小学生の吹奏楽バンド「ウィンドアンサンブル荷揚」にも出演していただきました。

今回は「より若い世代にジャズの魅力を伝える」というコンセプトであり、小学生対象の公開ジャズ講座も開催し、ジャズのリズムの楽しさや、アドリブ演奏の自由さを楽しくわかりやすく、実践を交えて講師が伝えました。始めは恥ずかしそうにしていた小学生たちも「ジャズは間違えてもいいんだよ。間違いでさえ個性につながるよ。」とアドバイスすると、思う存分生き生きと楽しそうに取り組んでくれました。また、大人のミュージシャンとのコラボ演奏「インザムード」もプログラム内で披露しました。これらの取組により、ジャズという音楽がより身近に感じていただけたと思っています。

イベントのフィナーレでは、観客と演奏者が共に

大合唱し、会場全体が一体となるなど、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭に相応しい、ジャズの魅力を老若男女問わず幅広く伝えることができた素晴らしいステージとなりました。

## ●プログラム

- 10:30 オープニング
- 1 大分市役所軽音楽部 ニューサターン
  - 2 T-BLUES BAND
  - 3 kai Jazz Band
  - 4 荒武裕一朗トリオ from 東京
  - 5 ウィンドアンサンブル荷揚&超簡単!! アドリブ講座
  - 6 MINT MOON
  - 7 松本バンド
  - 8 Kulu se Mama
  - 9 坂本カルテット
  - 10 Papaya De Janeiro
- 17:10 フィナーレ
- 17:30 終了

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 ブンゴジャズイン実行委員会

62

# 世界のお茶と出会おう！ in大分

— おおいた文化の祭典 —

開催日：①平成30年11月18日(日) ②平成30年11月25日(日)

開催場所：①iichiko総合文化センター ②臼杵市観光交流プラザ



## ●実施状況

大学コンソーシアムおおいたは、大分県内の大学・短大に通う留学生のサポート団体です。今回はその留学生たちの多国籍性を活かした国際理解の活動として、参加を希望する留学生の中から6か国を選出し、母国の代表的な“お茶”を大分会場と臼杵会場でふるまいました。また、日本文化とおもてなしの気持ちを学びたいと、茶道の練習をしてきた留学生によるお抹茶の提供も行いました。

両日とも、お抹茶を含めた7か国のお茶の試飲ができるイベントとなり、普段目にするののないお茶やその淹れ方などに関心が寄せられ、多くの方が複数のお茶を試していました。“お茶”の種類は違えど、お茶とお茶の時間を愛でる気持ちは世界共通であり、また、他国の文化を知ることは人と人の相互理解に繋がります。来場者には、試飲しながらその国の留学生と会話していただき、それぞれの文化について知ってもらうことで、留学生や留学生の母国についての認識を深めていただく良い機会となりました。

留学生にとっては、普段の大学生活とは違い、多くの方々と日本語で会話しながら母国のお茶の説明と提供をすることや、着物を着てお抹茶を点

てて提供することは、とても大変でしたが、色々な交流が生まれ、大変貴重な体験となりました。留学生同士も他大学の学生と交流し、お茶を交換して飲み、楽しく過ごして全員が晴れ晴れとした笑顔で大会を終えることができました。

## ●プログラム

- 11月18日(日) iichiko総合文化センター  
iichikoアトリウムプラザ
  - ・日本の茶道を学んだ留学生による抹茶の提供
  - ・留学生による各国のお茶の試飲  
バングラデシュ(チャイ)、中国(プーアル茶)、スリランカ(セイロンティー)、韓国(ゆず茶)、ベトナム(蓮の花茶)、タイ(バタフライピーハーブティー)
  - ・各国の食文化の紹介展示や各国料理のレシピの提供
- 11月25日(日) 臼杵市観光交流プラザ 南エントランス
  - ・同上

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 NPO法人大学コンソーシアムおおいた

63

## 第20回大分市民洋舞踊フェスティバル

開催日：平成30年11月18日(日)

開催場所：コンパルホール



## ●実施状況

本事業は、20年前の大分県での文化祭開催を機に「大分県洋舞踊協会」から名称を変えて発足した「おおいた洋舞連盟」が毎年実施してきた、各団体の枠を超えた洋舞踊のイベントです。今回は、クラシックバレエと現代舞踊それぞれに特別ゲストを迎え、連盟の各団員とのコラボレーションによる豪華で多彩なステージを披露することとしました。

テーマを「20周年記念、未来へつなぐ感動のステージへ!」とし、ジャンルや所属の枠を超えて、将来の芸術文化の担い手を育み、若い世代や子どもたちの豊かな創造力を生かせる舞台を創作しました。

第一部は、未来のバレリーナを夢見る姿を元気に楽しく表現する「リトルダンサーたちの夢をのせて」で幕を開け、続く「ダンスワンダーランド」では、大分県出身の振付家Koko氏演出のもと、アクロバットやストリートダンスなど5名のゲストダンサーが団員と共演しました。映像効果や会場全体を取り込む異空間のパフォーマンスは、来場者から高い評価を得ました。

第二部は、世界的に活躍するバレエダンサー2名を特別ゲストに迎え、団員とともにクラシックバレエで人気の演目「くるみ割り人形」より「お菓子の国」を上演しました。来場者には華やかな夢の世界を大いに楽しんでいただきました。

あわせてホール内ロビーでは、本事業の歴史を辿るパネル展示を行いました。

終始客席は満席で、延べ480名にご来場いただき、本事業が文化祭とともに歩んだ歴史と、今後の新たな展望を多くの方にご覧いただく良い機会となりました。

## ●プログラム

## 第一部

オープニング作品「リトルダンサーたちの夢をのせて」  
ダンス作品「ダンスワンダーランド」/振付・構成・指導：Koko  
ゲストダンサー / アクロバットダンスパフォーマー「G-Rockets」：宮内 敦子、倉知 あゆか  
STREET、JAZZ&HIP-HOPダンサー「D-TREK」：HIRO、南條 良輔、河野 靖也

## 第二部

バレエ作品「くるみ割り人形」より「お菓子の国」  
ゲストバレエダンサー：菊地 結子(NBAバレエ団所属)、安村 圭太(谷桃子バレエ団所属)

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 大分市 大分市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会 第20回大分市民洋舞踊フェスティバル実行委員会

# 九州国画会写真部創立40周年記念 おおいた フォトウィーク2018 -おおいた文化の祭典-

開催日：平成30年11月20日(火)～25日(日)

開催場所：大分県立美術館



## ●実施状況

九州一円に同人を擁する九州国画会写真部の創立40周年を記念し、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「おおいた文化の祭典」事業として「おおいたフォトウィーク2018」を開催しました。「発信!エコールド おおいた」をキャッチフレーズに、若者の瑞々しい視点を大切にしながら、大分の地から新しい写真文化の風を吹かそうという思いで実施しました。「写真の学校」の特別ゲストとして招いた写真家ハービー・山口氏のきめ細やかな指導は、写真を愛好する若い世代に対して、今後の大きな創作力成長の糧をもたらしました。さらに、講演会では、若年者から高齢者まで幅広い世代に対し、日々の感動を作品にしていくことの大切さや、被写体との接し方は「人の生き方」そのものの反映であるという示唆に富んだ言葉をいただくなど、聴衆の心に深く刻まれました。

アンデパンダン展会場には、160点を超える作品が展示され、6日間の会期中は1,200人を超える多くの方々にご来場いただきました。また、イベント会場は、情報交換の場としての働きもあり、会期中は連日様々な交流が行われ、今後の創作活動に厚みをもたらす充実した時間を過ごすことができました。

今大会により、九州国画会写真部の存在を示すことができるなど、大きな成果を上げることがで

きました。永く会の発展のためご支援ご協力をいただいた各方面の関係者に対して感謝するとともに、今後のさらなる発展を目指して活動を充実させていきます。

## ●プログラム

- 11月23日(金・祝)
  - ◎発信!エコールド おおいた
    - ・ハービー・山口「写真の学校」
    - ・ワークショップ&フォトウォーク
- 11月23日(金・祝)
  - ◎ハービー・山口 講演会
- 11月20日(火)～25日(日)
  - ◎九州国画会写真部創立40周年記念アンデパンダン展
- 11月20日(火)～25日(日)
  - ◎国画会会員・準会員による作品展
- 11月23日(金・祝)～25日(日)
  - ◎ハービー・山口「写真の学校」参加者作品展
- 11月20日(火)～25日(日)
  - ◎イメージラボ交流展

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 九州国画会写真部

65

# 演劇公演「花人～桜舞う、あなたの居る場所～」

開催日：平成30年11月23日(金・祝)・24日(土)

開催場所：J:COM ホルトホール大分



出会いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

## ●実施状況

本作品は、「居場所」をテーマとして、子ども食堂を舞台に現代社会が抱える様々な問題を織り込み、そこで出会う人々との交流を通して、それぞれの居場所を探し求め、生きる意味を考えるなかで、成長していく若者達を描いた現代劇です。

役者、照明、舞台美術、撮影等の知識や技術を、ベテランスタッフから若手に伝承する実践的な場として活用しながら、大分県在住の脚本家、演出家、出演者、スタッフで作品を創り上げることに取り組みました。

舞台照明と演劇のワークショップを実施し、興味のある参加者を広く募るとともに、出演者とスタッフについては、演劇経験の有無を問わず幅広い年代の方を募集し、オーディションを行いました。

未経験者からベテランの役者まで、また幼稚園児から70歳代まで、県内各地から集った30人の出演者は、約1年間にわたり一生懸命練習に取り組みました。練習を積み重ねていく中で、それぞれが意見を出すことの大切さ、一人一人が主体的に協力すること、年代や世代を超えたコミュニケーションを通じた人との関係性の作り方を学ぶ良い機会になりました。

出演者からは、「厳しいことを含めてお互いに意見を言い合えた」「苦手なことが克服できた」「自分の心をオープンにさせてくれた演劇に感謝している」などの声を聞くことができました。本公演が、これから大分で演劇活動をしていく次世代育成に貢献することができたと考えています。

また、観劇者からは、「自分自身の“居場所”を考えるきっかけになった」「ところが温くなる作品でした」「大分でこのような素晴らしい演劇が見られるとは思わなかった」といった意見や、「子ども達にもっと演劇に触れる機会を与えてほしい」といったご要望もいただきました。

国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭という大きな行事を通して、「演劇」の裾野の広がりを感じることができ、今後の大分における演劇活動のあり方や展望を考えるきっかけになりました。

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 大分市 大分市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会 おおいた演劇の会

66

# 聴覚障がいがある人もない人も楽しめる人形劇 「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール」

開催日：平成30年11月23日(金・祝)

開催場所：大分県立聾学校



## ●実施状況

神奈川県川崎市を拠点に、聴覚障がいのある人とない人がお互いの感性を活かし合って創作活動をしている人形劇集団「デフ・パペットシアター・ひとみ」を招き、セリフを使わずに手話やパントマイム、プラカードなど視覚的な表現方法で上演する「聴覚障がいのある人もない人も楽しめる人形劇」を開催しました。

今回の作品「はこ/BOXES じいちゃんのオルゴール」は、戦前から現在に至る家族3世代の物語で、モノがなくても幸せだった頃から、洗濯機、テレビ、冷蔵庫の「三種の神器」がもてはやされた高度経済成長期を経て、パソコンや携帯電話が普及する現在までを描き、暮らしが目まぐるしく変化する中で、モノとの関わり方と家族の絆を見つめ直すという内容でした。

舞台装置や小道具には大小様々な「はこ」が登場し、次々と出現する電化製品等の象徴として使用されました。劇中には打楽器などが生演奏され、目で見て「音」を感じさせる工夫が随所に散りばめられていました。

当日は聾学校関係者を含め266名に来場いただき、台詞のない人形劇を熱心に鑑賞していました。来場者からは、「1つ1つの動きや顔の表情などがとても細かく、ろう者も聴者も楽しむことができ感動した」、「子どもたちの手話表現の参考になった」、「出演者、来場者ともに、『障がいのある人とない人が一体となった人形劇』のように感じた」等の感想をいただきました。

## ●出演団体

デフ・パペットシアター・ひとみ（出演者6名）

## ●参考（ワークショップの実施）

人形劇の前日には、聴覚障がいがある人に「音」を楽しんでもらうため、「デフ・パペットシアター・ひとみ」によるワークショップを実施しました。

参加者は、初めて見る有名な楽器や珍しい楽器に興味を持ち、振ったり、叩いたり、こすったりして楽しんでいました。

また、講師の合図に合わせて楽器の「音」に強弱を付けたり、参加者全員で輪になって、隣の人から伝わってきたリズムを次の人に伝えたりして、「音」のイメージを膨らませていました。

イベント名 音・おと・オト・・・OTO  
～手作り音創り～

日時 平成30年11月22日(木) 13:00~14:00

場所 大分県立聾学校 1階プレイルーム

参加者 聾学校幼稚部・小学部生徒9名、保護者

## ●主催者

厚生労働省 文化庁 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会



67

## Oita Aid - おおいた文化の祭典 -

開催日：平成30年11月24日(土)

開催場所：J:COM ホルトホール大分



## ●実施状況

Oita Aid (おおいたエイド) は、東日本大震災を機に被災地や被災した人々を支援するために立ち上げた団体です。今回で7回目のチャリティーコンサートを国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「おおいた文化の祭典」事業として開催しました。

当日は、Oita Aidのメンバーなどによる演奏・合唱を封切りに、参加団体がコーラスや吹奏楽、ダンス等を披露しました。また、県立大分支援学校音楽部や発達障がい者グループ、介護が必要な方々の発表の場を提供するなど、障害者芸術・文化祭の一役を担った催しも実施し、それぞれが生き生きとした時間を過ごすことができました。

さらには、今回も福島県から「NPO法人ドリームサポート福島」が参加し、震災後7年経過した福島の現状を報告していただき、報道では伝わらない話なども聞くことができました。Oita Aidの活動には地域活性化、子どもの情操教育を掲げており、「城南合唱団さくら」「キッズダンス」「大分東明高等学校吹奏楽部」に参加していただき、子どもたちの発表の場を提供することで、情操教育等の一助となったと考えています。

各団体等の協力により、総勢300人の方々が来場しました。入場料及び寄付金を被災した地域や人々に届けることとしています。

## ●プログラム

開会 (14:00)

- ・Oita Aidのメンバー、小学生、障がい者、高齢者／合唱 (きみの笑顔)
- ・大分県立大分支援学校音楽部／創部2年目の部員5名で琴の演奏
- ・アースダンススクール (キッズダンス) / ヒップホップ
- ・キャッツ アイ (コーラスグループ) / ポップス等のコーラス
- ・NPO法人ドリームサポート福島／福島の現状を報告
- ・Mr. シュガー／中国伝統芸能「変面」を披露
- ・ピッピーズ (フォルクローレ) / 南米の音楽を中心に披露
- ・大分東明高等学校吹奏楽部／マーチングを入れ吹奏楽を披露
- ・長瀨神社獅子舞保存会 (獅子舞) / 獅子舞を披露
- ・Plastic Oita Aid Band (ロック) / ロックミュージックを中心に、音楽を披露

閉会 (18:30)

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 Oita Aid

68

## SAMURAI SOUL 2018 OITA SUPER FESTIVAL

— おおいた文化の祭典 —

開催日：平成30年11月25日(日)

開催場所：J:COM ホルトホール大分



## ●実施状況

昨今ダンスイベントは、若者だけでなく高齢の方にもファンが増えています。今回、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「おおいた文化の祭典」事業として、「SAMURAI SOUL 2018 OITA SUPER FESTIVAL」を開催しました。

今回の公演では、一般の方も参加できるプロダンサーによるWORK SHOPも行い、初心者の方にはダンスの楽しさを、経験者には知識・技術・経験のスキルアップと刺激を教えてくださいました。

ダンスショーでは、県内各地域から参加いただくとともに、県外からの参加もあり、プロアマが同じステージを共有するなど、大分市のテーマである「出会いの場」として、とても価値のある交流ができました。来場者も、色々なジャンルのダンスやプロ及び若手の出演、子どもから大人まで幅広い層が参加した内容に「見応えがあり、とても楽しかった」などの声をいただきました。

県内で育ったダンスや世界で活躍するダンサーと同じステージを共有することができ、大分に残すものと広げるもの、未来につなげるもの、そして今後の大分のダンス普及・人材育成の良ききっかけとなりました。

## ●プログラム

## ■WORKSHOP 11:00～16:00

- ・都 めぐみ / JAZZ
- ・GOGO BROTHERS / POP
- ・GOGO BROTHERS / LOCK
- ・TAKUYA / HOUSE

## ■SHOW CASE 18:00～21:00

- ・OTONOVA CAFE DANCE STUDIO (大分)
- ・studioseed (別府)
- ・安達 初奈 (大分)
- ・やっ小ダンス部 (大分)
- ・NATIVE DANCE VILLAGE (宇佐・中津)
- ・EAST WAVE (大分)
- ・studiocram aka studioeggroom (大分)
- ・CHIKARA@Superman number(北九州)
- ・エリと行くしみんな (福岡・大分)
- ・OITA SPECIAL POP UNIT (大分)
- ・OITA SPECIAL LOCK UNIT (大分)
- ・都 めぐみ (東京)
- ・SYMBOL-ISM (東京・大分)
- ・GOGO BROTHERS (東京・福岡)

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 OTONOVA CAFE DANCE STUDIO

69

# 国民文化の象徴「将棋」の祭典

開催日：平成30年10月12日(金)～14日(日)

開催場所：JR別府駅、別府市公会堂



出会いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

## ●実施状況

昔から温泉地別府では、将棋は湯上がりの交流の場などで盛んに指され、地域に根付いた文化となっています。今回開催された「国民文化の象徴『将棋』の祭典」では、そんな別府市でも初めての試みが多数行われました。

初日にはJR別府駅で、深浦康市九段をはじめとしたプロ棋士5名との指導対局や詰め将棋が行われました。プロとの対戦に飛び入り参加する方や、対局の様子を物珍しそうに眺める通行人も大勢詰めかけ、大会の盛り上がりにつながるイベントとなりました。

2日目からは場所を別府市公会堂に移し、さまざまな企画が実施されました。満員の観客が、あの「ひふみん」こと加藤一二三九段の講話に聞き入った後は、プロ棋士6名との指導対局、将棋なぞや歩回り等に挑戦する「子ども将棋トライアスロン」、駒師による駒作り実演会、団体戦による地域交流ふれあい将棋大会、プロと県内アマチュア棋士とのステージ対局などが次々と開催され、終日多くの将棋ファンで賑わいました。

大人も子どもも、また将棋初心者からトップレベルのアマチュアまで、それぞれの楽しみ方で将棋を満喫していただいた3日間となりました。

## ●プログラム

10月12日(金) JR別府駅

詰将棋コーナー、プロ棋士による指導対局

10月13日(土) 別府市公会堂

加藤一二三九段講話、駒作り実演会、プロ棋士による指導対局、子ども将棋トライアスロン

10月14日(日) 別府市公会堂

地域交流ふれあい将棋大会、駒作り実演会、将棋遊び体験会、プロ棋士による指導対局、詰将棋タイムトライアル、プロアマお好みステージ対局

## ●表彰

文部科学大臣賞、国民文化祭実行委員会会長賞(子ども将棋トライアスロンA級)/大分県知事賞(子ども将棋トライアスロンA～D級、地域交流ふれあい将棋大会)/大分県実行委員会会長賞(子ども将棋トライアスロンA級)/別府市長賞、別府市実行委員会会長賞、大分県将棋連合会会長賞(子ども将棋トライアスロンB～D級)/別府市長賞、別府市実行委員会会長賞、別府市教育長賞(地域交流ふれあい将棋大会)

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 大分県将棋連合会 日本将棋連盟大分中央支部

70

## ニッポンの祭り唄・盆おどり全国大会

開催日：平成30年10月14日(日)

開催場所：別府ビーコンプラザ



## ●実施状況

数多くの民謡が唄い踊り継がれている別府市で、日本の伝統芸能である各地の盆踊りを地域色豊かに披露する大会を開催しました。

オープニングでは、別府市内の小学生で結成された「子ども踊り隊」と大分県民謡連盟・民踊連盟が、別府の伝統的な踊りである「ヤッチキ」と「別府ばやし」を披露しました。

第一部では「日本の盆踊り西東」と題して、大分県民謡連盟・民踊連盟が日本各地の盆踊りを披露しました。

第二部では、数多くの留学生が在籍するAPU立命館アジア太平洋大学（別府市）の学生が民族芸能を国際色豊かに披露しました。

第三部では大分県内の盆踊り保存会による競演、第四部では石川県1団体、熊本県3団体の盆踊り保存会が特別出演しました。

フィナーレは戦国時代の大分の武将、大友宗麟を称えた「宗麟音頭」を大分県民謡連盟・民踊連盟が披露し、大盛況の中幕を閉じました。

## ●プログラム

オープニング「ヤッチキ」「別府ばやし」

主催者挨拶

第一部 日本の盆踊り西東

大分県民謡連盟・大分県民踊連盟

北海盆唄/会津磐梯山/相馬盆唄/ねぶた/佐渡おけさ/宮城野盆唄/一合まいた/別府音頭/豊後府内まつり/大野祭り唄/豊後竹田の四季音頭/明野音頭/チキリンばやし

第二部 民族芸能でつなごう「アジアの架け橋」  
APU立命館アジア太平洋大学・学生等による「アジア民族芸能の祭典」

ベトナム/スリランカ/中国

第三部 おおいた「盆踊り保存会」による“ふるさと自慢”

関の鯛つり唄（大分市）

団七おどり（豊後大野市）

山香盆踊り（杵築市）

坂ノ市サンカツ踊り（大分市）

津久見扇子踊り（津久見市）

中津大津絵音頭（中津市）

草地踊り（豊後高田市）

鶴崎踊り（大分市）

第四部 「特別招待出演」＝日本を代表する盆踊りの競演＝

柏野じょんがら節（石川県・かしの）

ぼたる夜想曲（熊本県菊池市）別名：ちょうちん踊り

山鹿灯籠踊り（熊本県山鹿市）

牛深ハイヤ（熊本県天草市牛深町）

フィナーレ「宗麟音頭」

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会  
第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会  
第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 大分県民謡連盟 大分県民踊連盟 公益財団法人日本民謡協会大分県連合委員会

## 能とお茶の祭典

開催日：平成30年10月17日(水)

開催場所：山荘 神和苑



## ●実施状況

日本の伝統文化である茶道と能に親しむことにより、生活を豊かなものとし、茶道と能の文化の継承につなげることを目的として、「能とお茶の祭典」を実施しました。

お茶席は別府市内で毎月月釜を開くなど長年活動が続けている「茶道 洗心会」のご尽力により、表千家、裏千家、煎茶道東阿部流の三流派が集い開催されました。神和苑内に各席300席を用意し、各流派のお茶を来場者の皆様楽しんでいただきました。これまでの活動の成果を十分に発揮していただき、また流派を越えたそれぞれの活動も皆様を知っていただく良い機会になりました。

能楽はワークショップと鑑賞会を午前と午後の2回に分けて実施し、能楽堂を取り囲むような配置で屋外席を各回150席用意しました。

ワークショップでは地謡の藤井丈雄氏より、能を鑑賞する際に必要な知識や鑑賞方法を解説いただくとともに、囃子について笛・小鼓・大鼓などを交えて実際に音を鳴らしながら説明いただきました。また鑑賞会では観世流能楽師である宮本茂樹氏をシテ方として、実際に「敦盛」を半能形式で舞っていただきました。

参加者の方々からはワークショップや能の鑑賞

について「楽しく分かり易かった」「事前に能の知識や見方が分かったので鑑賞に役立ち参加して良かった」という感想をいただきました。

当日は天候にも恵まれ、お茶席、能楽共に多くの参加者で賑わい、まさに「能とお茶の祭典」というイベント名にふさわしい一日となりました。

## ●プログラム

開会式 9:50~

お茶会 10:00~15:00

(表千家・裏千家・煎茶道東阿部流)

能のワークショップと観劇

演目「敦盛」 観世流能楽師 宮本 茂樹氏

1回目 11:00~12:30

2回目 13:30~15:00

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 茶道洗心会 能とお茶の祭典実行委員会

## 湯けむりたなびく温泉地別府 川柳の祭典

開催日：平成30年10月21日(日)

開催場所：別府市公会堂



## ●実施状況

全国及び海外から広く川柳を募集し、川柳愛好者相互の交流を図ることを目的として本祭典を実施しました。川柳は幅広い年齢層の愛好者が多く、今回も多くの応募と当日のご参加をいただきました。事前投句では1790名の方々から句を応募していただき、海外からの応募も23名ありました。当日投句では全国から313名もの川柳愛好家が会場に集いました。「湯」「煙」「香り」と、開催地別府にちなんだ課題が出され、参加された皆さんは真剣な面持ちで句箋紙に向かっていました。選者の方々による披講・選評が行われた後、事前投句と当日投句を合わせて選ばれた10句の作品の表彰式を実施しました。

その他にも、新潟市からの次期開催地PRや、県内高校生による神楽のアトラクションなど、会場を盛り上げる企画が多数実施され、参加された皆様に大いに楽しんでいただくことができました。

また愛好者相互の交流も活発に行われ、川柳の発展と向上に繋がる祭典となりました。

## ●プログラム

- 9：30～11：30 当日投句受付  
12：00～13：30 開会式・次期開催地あいさつ・アトラクション

- 13：50～15：30 事前・当日投句 披講および選評  
15：50～16：00 選評・入賞作品発表  
16：00～16：35 表彰式・記念撮影  
16：35 閉会式

## ●表彰

- 文部科学大臣賞  
国民文化祭実行委員会会長賞  
大分県知事賞  
第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長賞  
大分県教育委員会教育長賞  
別府市長賞  
第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会会長賞  
別府市教育委員会教育長賞  
全日本川柳協会理事長賞  
大分県傘川柳連合会会長賞  
(いずれも事前投句、当日投句から選出)

## ●主催者

- 文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 一般社団法人全日本川柳協会 大分県傘川柳連合会

73

## 九州マーチングバンドの祭典

開催日：平成30年10月27日(土)・28日(日)

開催場所：別府ビーコンプラザ



出会いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

## ●実施状況

「ビーコンプラザをマーチングバンドの聖地に」この合言葉の下、マーチングバンド全国大会九州予選等を兼ねて実施された本事業は、幼稚園・保育園の部から一般の部まで、九州各県より全30団体の出場をいただきました。

開会式では、平成29年度の開催県である奈良県から本大会会長へ「黄金のバトン」が引き継がれました。

初日の高校生の部では、県予選を突破した団体が、日頃の練習の成果を十分に発揮し、音の強弱、隊列の綺麗さの動き一つひとつに躍動感を感じさせる、素晴らしいマーチングを披露しました。

2日目はかわいらしい保育園の子どもたちの一生懸命さが伝わる演技からスタートしました。続いて小中学生が前日の高校生に負けない迫力あるマーチングを披露し、最後に一般の部の出演者が大人の洗練されたステージで観客を魅了しました。

また文化祭特別ゲストとして、両日にわたって出演いただいた「京都ラヴィソンレビックインドアドラムライン」は、目の見えない人、音の聞こえない人にもマーチングを楽しんでもらいたいというテーマの下、動きの中に手話を取り入れたレベルの高い演技を披露しました。

観客・出演者あわせ2日間で約4,700人もの方々に来場いただき、マーチングの聖地にまた一步近づいた、大盛況の大会となりました。

## ●プログラム

10月27日(土)

13:30～開会式

13:40～高等学校の部演技 17団体

ゲスト演技 京都ラヴィソンレビック  
インドアドラムライン

表彰式、閉会式

10月28日(日)

11:30～開会式

11:40～幼稚園、保育園の部演技 1団体

小学生の部演技 3団体

中学生の部演技 3団体

ゲスト演技 京都ラヴィソンレビック  
インドアドラムライン

表彰式、閉会式

一般の部演技 6団体

ゲスト演技 京都ラヴィソンレビック  
インドアドラムライン

表彰式、閉会式

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 九州マーチングバンド協会 大分県マーチングバンド協会 大分県吹奏楽連盟

# 豊後南画「過去・現在・未来」への誘い いざな

開催日：平成30年11月1日(木)～6日(火)(11月3日(土・祝) 表彰式、シンポジウム)

開催場所：トキハ別府店7階



## ●実施状況

田能村竹田を始祖とする「豊後南画」が隆盛を極めた大分の地で、「豊後南画『過去・現在・未来』への誘い」と題し、水墨画（墨彩画）の展覧会を実施しました。

全国からの公募作品94点に加え、大分県内の小学生の作品13点、特別賛助作品11点、計118点を展示し、見応えのある展覧会となりました。特別賛助作品には、大分県の水墨画振興に多大な貢献をされた故諺間夢鳳氏の4作品も展示させていただきました。

11月3日には全国公募作品の表彰式を実施するとともに、審査員の島尾新氏、宗像健一氏、岡村南紅氏の3名と大分県水墨画協会会長内藤春華氏をパネリストに迎え、シンポジウムを開催しました。

シンポジウムでは作品の講評や、田能村竹田の画風・技風の解説があり、「初心者の方が水墨画に慣れ親しんでもらうためには」、「上達するためのコツ」などをテーマに、様々なトークを行っていただきました。また、今後の水墨画の発展、普及の方向性などについても熱く語っていただきました。

商業施設内で開催したことで、展示、シンポジ

ウムともに多くの方々に来場いただくことができました。また、これまで水墨画を見たことがない方にも興味を持っていただく良い機会となりました。

## ●表彰

文部科学大臣賞/国民文化祭実行委員会会長賞/大分県知事賞/第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長賞/大分県教育委員会教育長賞/別府市長賞/第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会会長賞/別府市教育委員会教育長賞/別府市美術館賞/大分県芸術文化振興会議理事長賞/大分県立美術館賞/大分県美術協会賞/大分県水墨画協会賞/大分合同新聞社賞/OBS賞/TOSテレビ大分賞/OAB大分朝日放送賞/エフエム大分賞/大分ケーブルテレコム賞/審査員特別賞/優秀賞/入選

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 大分県水墨画協会



75

## 連句の祭典

開催日：平成30年11月3日(土・祝)・4日(日)

開催場所：別府市公会堂(吟行会：臼杵市内・別府市内各所)



## ●実施状況

「湯けむりの町で 楽しい連句大会」のキャッチフレーズのもと、大分県では20年ぶり2回目となる「連句の祭典」を開催しました。

11月3日は臼杵市方面とJR別府駅周辺の2班に分かれて吟行会を行いました。11月4日は事前に応募のあった695巻の作品から選ばれた入賞作品の表彰式、講演会、実作会を開催しました。

講演会では、別府大学名誉教授・江崎一子氏を講師に迎え、「温泉と健康と食」と題した講演を行いました。また、実作会では全国から150名を超える連句愛好家が集まり、その実力を発揮いただいた作品を完成させました。

2日間を通して、全国の連句愛好家が互いに交流を深めつつ、連句を存分に楽しむ機会となりました。

## ●プログラム

11月3日(土・祝)

吟行会(臼杵、別府)、交流会

11月4日(日)本大会

9:30 受付

10:00 開会、挨拶等、表彰、講評

11:10 講演会 演題「温泉と健康と食」

講師：江崎 一子氏(別府大学名誉教授)

12:00 昼食・実作会

15:20 代表披講

15:30 閉会式 挨拶等、引継式

16:00 閉会

## ●表彰

〈審査員〉青木 秀樹、梅村 光明、大月 西女、鈴木 了齋、高尾 秀四朗、東條 士郎、服部 秋扇、佛淵 雀羅

〈国関係表彰〉

文部科学大臣賞、国民文化祭実行委員会会長賞

〈大分県関係表彰〉

大分県知事賞、第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長賞、大分県議会議長賞、大分県教育委員会教育長賞

〈別府市関係表彰〉

別府市長賞、第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会会長賞、別府市議会議長賞、別府市教育委員会教育長賞

〈連句協会関係表彰〉

一般社団法人日本連句協会会長賞、大分県連句協会会長賞、一般社団法人日本連句協会功労賞

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 一般社団法人日本連句協会 大分県連句協会

76

# 別府市アール・ブリュットの芽ばえ展 ～障がいをこえて～

開催日：平成30年11月3日(土・祝)～9日(金)

開催場所：ゆめタウン別府



## ●実施状況

「別府市アール・ブリュットの芽ばえ展～障がいをこえて～」は、障がいのある方の生(き)のままのあふれる思いが込められた作品展です。芸術の鑑賞や創造を通じて、障がいのある方の日常生活及び社会生活を豊かなものとし、また障がいのある方とない方との相互理解を促進するため、平成27年度から実施しています。今回は文化祭事業として、さらに内容の充実を図りました。

作品展は11月3日から9日までの1週間、市内商業施設の催事場で実施しました。別府市近郊の障がいのある方を中心に、絵画、書、写真、切り絵、俳句等様々なジャンルの作品189点を展示しました。あわせて制作過程の映像の放映、来場した子どもたちによるお絵かきコーナーの設置などを行いました。

また、初の試みとして、アート活動に従事している障がいのある方を講師に招いたワークショップを開催するとともに、展示作品の中から来場者の投票により決定する「別府市アール・ブリュットの芽ばえ賞」を設けました。

ワークショップでは、原野彰子氏による絵手紙教室、中島眞一氏による切り絵教室、井上勝則氏による革細工教室を開催しました。障がいのある

方もない方も、子どもから大人まで様々な方が参加し、大盛況となりました。

「別府市アール・ブリュットの芽ばえ賞」は、来場者の皆様方に、心に響いた作品について投票してもらいました。代表して13作品を入賞とし、11月11日に行われた別府市福祉まつりで表彰するとともに、翌12日から16日まで、別府市役所で再展示をしました。

商業施設で開催したこともあり、期間中に約2,300人もの方に来場いただき、障がい者アートに興味を持っていただける良い機会となりました。

## ●プログラム

- ・展示 11月3日(土・祝)～9日(金)(入賞作品は12日(月)～16日(金)まで市役所にて再展示)
- ・ワークショップ
  - 絵手紙教室 11月3日(土・祝) 講師：原野 彰子氏
  - 切り絵教室 11月3日(土・祝) 講師：中島 眞一氏
  - 革細工教室 11月4日(日) 講師：井上 勝則氏

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 別府市アール・ブリュットの芽ばえ展実行委員会

77

# ポエトリー・サラダボウル～詩にふれよう、詩を読もう～ ーおおいた文化の祭典ー

開催日：平成30年11月3日(土・祝)

開催場所：別府市社会福祉会館



## ●実施状況

詩の味わい深さを確かめていただき、より豊かな暮らしを送る手助けになれるよう、「ポエトリー・サラダボウル～詩にふれよう、詩を読もう～」を開催しました。

はじめに、詩を使ったパフォーマンスで活躍中の表現者4名が、音楽・映像を合わせた演劇のような表現やラップ調・ポップスにかぶせるように切実な思いを乗せた表現、マイク一本と身体を使った表現など、各々が個性あふれる朗読パフォーマンスを行いました。その後、詩人平川綾真智氏を司会者として迎え、ゲストパフォーマーと共に詩と朗読について、トークショーを行い、各ゲストの全国的な活動について話を聞かせていただきました。メインイベントであるワークショップ「ポエトリーリーディング・オープンマイク」では、来場者にステージで自作の詩を朗読してもらい、ゲスト主導で作品を鑑賞・批評しました。自作詩枠（事前応募の16名）と即興詩枠の二部構成で、始終熱気あふれるにぎやかなイベントとなりました。

また、会場の後方では、聞くだけでなく目で読んで詩を楽しんでもらうために、全国から詩を使った頒布物（フリーペーパー、zine、リトルプレスなど）を100種類集め、展示・無料配布を行いました。5時間に及んだイベントでしたが、席

は常にほぼ満席で、立ち見の方もいました。

詩に触れたことのない方から、全国各地で活躍されている詩人の方まで、色んな方々に詩を堪能していただきました。

## ●プログラム

- 12:00～ 開会  
ライブ ゲストパフォーマーによるポエトリーリーディング  
ゲスト：瀧村 鴉樹、にゃんしー、元ヤマサキ深ふゆ、泉 由良
- 13:00～ トーク 詩を朗読で美味しく食べよう～現代詩とリーディング・シーン  
講師：平川 綾真智 他ゲスト
- 14:00～ ワークショップ ポエトリーリーディング・オープンマイク  
講師：瀧村 鴉樹、平川 綾真智、元ヤマサキ深ふゆ、にゃんしー、泉 由良
- 17:00 閉会  
※開会中に展示・無料配布のポエトリーサラダバイキングを実施

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 大分4F〔詩階〕/こんぺき出版

78

# かなわ 鉄輪スケッチ芸術祭

開催日：平成30年11月3日(土・祝)～18日(日)

開催場所：スケッチ大会：鉄輪一帯 作品展示：富士屋Gallery一也百、湯治 柳屋、アルテノイエ、熱の湯公民館



## ●実施状況

別府市の代表的な温泉街「鉄輪」の味わいある町並みや湯けむりの迫力を体験してもらい、スケッチや写真を通じて地域の魅力を再発見してもらうとともに、文化意識の向上を図るために「鉄輪スケッチ芸術祭」を実施しました。

鉄輪でのスケッチ大会は今年で4回目となりますが、今回は文化祭事業として、審査員の先生方に別府や鉄輪をテーマとした作品を制作していただくとともに、他市のスケッチ仲間を招待するなど、例年より規模を拡大し、「芸術祭」と題して実施しました。

当日は快晴の秋空の下、スケッチの部では134名、写真の部では28名もの参加をいただきました。大人も子どもも一緒に、鉄輪の風景を思い思いに切り取って絵や写真に収めていました。

スケッチ作品は当日のうちに審査、表彰し、後日全作品を地元の公民館に展示しました。また、写真作品はスライドショーにして公民館で公開するとともに、野外上映会を開催し、湯けむりが立ち上る夜の鉄輪で、多くの方に鑑賞いただきました。

鉄輪のギャラリーやカフェに展示した審査員の方々の作品も好評で、観光客を中心に多くの方が会場を訪れていました。

大会の開催や作品展示を通して地域の良さを再発見するとともに、さらなる芸術文化の向上につながる良い機会となりました。

## ●プログラム

11月3日(土・祝)～18日(日)	審査員作品展示
11月4日(日)	スケッチ・写真撮影大会
11月10日(土)～18日(日)	大会作品展示
11月16日(金)～18日(日)	夜の野外上映会

## ●表彰

〈スケッチの部〉

- ・新見 隆 (大分県立美術館長) 賞
- ・二宮 圭一 (美術家) 賞
- ・伊藤 昭博 (美術家) 賞
- ・鉄輪カレッジ賞 4点

〈写真の部〉

- ・竹内 康訓 (写真家) 賞
- ・藤田 洋三 (写真家) 賞
- ・久保 貴史 (写真家) 賞
- ・鉄輪カレッジ賞 2点

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会 kannawaCollege・鉄輪スケッチ芸術祭実行委員会